

近江神宮日供神饌講
 新版第三十号
 平成三十年三月十日

鈴木靖将氏「大津京逍遙」奉納

大津京に関連する日本画を数多く描かれている画家で、三橋節子美術館館長の鈴木靖将氏より、このたび大壁画「大津京逍遙」五部作を奉納いただきました。

「大津京逍遙」は、十年ほど前に描かれた、白村江の戦い、大津京遷都、蒲生野遊獵、壬申の乱、柿本人麻呂挽歌の五部作で、縦二メ



「遷都大津京造営」時計館展示

ートル、横一・三メートルの日本画五枚で、大津京についての認識を広めるためにオペラを作ったときの協賛者五百人の方々を大津京時代の人に見立てて描き入れたとのこと。関連行事をはじめとして既に各所で展示されたもので、版画にも仕立て上げられています。その原画を奉納いただいたものです。年末年始には記念展として時

計館で展示され、またその経緯が京都新聞にも掲載されました。なお、鈴木氏は、明治時代に京都での水力利用・舟運などのために建設された琵琶湖疏水の舟運復活にも熱心に取り組み、数年前から試験的に京都・大津間の通船が行われていましたが、今春から本格的に運行し、観光利用に資することになりました。

「ちはやふる」実写映画公開

競技かるたを題材にした漫画「ちはやふる」が、雑誌連載開始より十年を超え、一昨年には実写映画の「上の句」「下の句」二部作も上映されましたが、この三月十七日より第三部となる『ちはやふる 結び』が、東宝の配給により全国の映画館で上映されます。昨年五月から六月には一か月近くにわたって近江神宮のほか大津市内などでのロケが行われました。



『ちはやふる』は漫画・映画だけでなく、小説としても、数年前に書かれた『中学生編』、昨年からは今年にかけて映画を小説にした『上の句』『下の句』『結び』と、多くの作品が書かれて青春小説としても注目され、来年には、テレビアニメの第三期が予定されています。

崇福寺創建一三五〇年

「志賀の山寺」として歴史に名高い、滋賀里山中の崇福寺は、天智

天皇の勅願寺として、大津宮遷都の翌年一月十七日に創建されたと伝えられています。従って今年で満一三五〇年を迎えました。毎年



崇福寺鎮魂供養祭



崇福寺跡碑

五月十七日に園城寺の僧侶とともに崇福寺関係諸霊鎮魂の供養祭を行ってまいります。

昭和祭記念コンサート

昨年四月二十九日、昭和祭当日、大津京遷都一三五〇年記念コンサートが行われましたが、今年と同じく四月二十九日、昭和祭記念奉納行事として、コンサートが行われることになりました。昨年に準備、奏和会による雅楽・舞楽、和洋折衷のアンサンブル、ジャズの三部構成で行われる予定です。

閃

閃 平石丹珠著

平石丹珠著

HISTORICAL CHANGES OF SHIMAZU THE



平石丹朱朋女史作品集
華道草月流の師範・本部講師など

春から初夏の祭典・行事

三月十七日	午前十一時	祈年祭
四月二十日	午前十時	例祭 勅使参向
四月二十二日	午後二時	近江まつり子供みこし渡御
四月二十九日	午前十一時	昭和祭
五月十七日	午前十一時	崇福寺鎮魂供養祭（崇福寺跡にて）
六月三日	午後〇時三十分	流鏝馬神事
六月九日	午前十時	献茶祭
六月十日	午前十一時	漏刻祭
六月二十四日	午前十一時	献菓献煎茶祭
六月三十日	午前十一時	日供神饌講社大祭 饗宴祭
六月三十日	午後四時	大祓式



を務められる平石丹朱朋女史は昭和六十三年から昨年まで毎年近江神宮の正月の拝殿前の献花作品を製作し、新年の社頭を彩ってこられました。昨年で三十回を迎えたのを区切りとされ、その機会に作品集を出版されました。三十年間の新年献花作品をはじめ多くの作品を収録しています。写真は表紙カバー、近江神宮の昨年と一昨年の新年の献花作品の掲載ページです。

講社通信は近江神宮ホームページでカラーで見られます。

<http://www.oumi.jingu.org/>「日供神饌講」ページ